

当期純利益の表示方法の見直し

企業会計基準委員会(ASBJ)は、連結財務諸表上、当期純利益に少数株主持分損益を含め、現行の当期純利益を「親会社株主に帰属する当期純利益」とする提案を行っています。

少数株主との取引の取扱いが、「損益取引」から「資本取引」に変わることにより起きます。これにより、子会社株式の追加取得や一部売却(支配関係継続)などは、連結財務諸表上、資本取引になります。呼称も変更し、「少数株主持分」が「非支配株主持分」に、「少数株主持分損益」が「非支配株主に帰属する当期純利益」に変わります。

連結財務諸表における表示例(公開草案)【2 計算書方式】

《連結損益計算書》

売上高	10,000
税金等調整前当期純利益	2,200
法人税等	900
当期純利益	1,300
非支配株主に帰属する当期純利益	300
親会社株主に帰属する当期純利益	1,000

《連結包括利益計算書》

当期純利益	1,300
その他の包括利益:	
その他有価証券評価差額金	530
繰延ヘッジ損益	300
為替調整損益勘定	△180
持ち分法適用会社に対する持分相当額	50
その他の包括利益合計	700
包括利益	2,000
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	1,600
非支配株主に係る包括利益	400

また、上図のように連結損益計算書上、当期純利益に少数株主持分損益を含めることとし、現行の少数株主持分損益調整前当期純利益を「当期純利益」とし、現行の「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」に変更します。

当期純利益の中身が変わってしまうため、注意が必要です。

上記の内容は、公開草案の公表後コメントが寄せられ、現在、審議中です。